

2015年1月実績概要(メモ)

(2015. 2. 19)

1. 生産動向

イ) エチレン 614,100トン

前月比 ▲2.5% (▲16,000トン)
前年同月比 ▲4.6% (▲29,800トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	-	-
定修要因等	-	-
能力増減	-	▲4.4%
稼働率変動	▲2.5%	▲0.2%
生産増減率	▲2.5%	▲4.6%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月95.5%→当月93.1%←前年同月93.3%
定修プラント：前月なし → 当月なし ←前年同月なし

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、主として稼働率要因からHD、PP、PS、AN、SBRなどの8品目はプラス。LD、SM、塩ビモノマー、BR、ベンゼン、キシレンの9品目はマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因等からLD、HD、PP、PS、SM、塩ビモノマー、AN、BR、ベンゼン、キシレンなどの11品目がマイナス。塩ビ樹脂、MMAモノマー、EG、トルエンなどの6品目はプラスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況(LD、HD、PP、PS)

イ) 生産

前月比では、稼働率要因からHD、PP、PSはプラス。LDは稼働率要因等からマイナスとなった。前年比では、稼働率要因等からLD、HD、PP、PSの4樹脂揃ってマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比は、年始休暇による営業日数の差や原料動向からの先安感に伴いLD、HDはマイナスとなった。PSは包装分野等の出荷が増加しプラスとなった。前年比では、原料動向を巡る先安感から出荷が低迷していることや前年の出荷水準が消費税増税前の駆け込み需要増に伴い高めであったこともありLD、HD、PSでマイナス、PPは前年並となった。

ハ) 輸出

アジア域内の需要は依然として芳しくなく、当月は前月比でPP、PSがプラスとなったが、LD、HDはマイナス。前年比でもHD、PPはプラス、LD、PSはマイナスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP、PSの4樹脂で増加した。在庫率(季節調整済)ではLD、HDは前月に対し上昇、PP、PSはやや低下した。在庫水準としては、LD、HD、PPで高めかやや高めとなっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率(単位:ヶ月)	
		12月末	1月末
LD	+14,400	3.5	3.6
HD	+12,400	2.5	2.6
PP	+45,600	2.8	2.7
PS	+2,500	1.5	1.3

以上